

## 業務実績評価（案）に対する意見書への対応

No	該当箇所	評価（案）	法人修正意見	修正（案）
1	項目別評価 （1頁） 首都大学東京に関する目標 【入学者選抜】 「大学院の入学者選抜」	・「大学院の入学者選抜」については、前年度に引き続き、博士前期課程では一部の研究科が定員充足率を満たしておらず、また、博士後期課程においては <u>ほぼ全ての研究科において満たしていない</u> 。志願者確保に向けた検討を望む。	・「大学院の入学者選抜」については、前年度に引き続き、博士前期課程では一部の研究科が定員充足率を満たしておらず、また、博士後期課程においては <u>一つの研究科を除き定員充足率を満たしていない</u> 。志願者確保に向けたさらなる検討を望む。  （修正理由） 原案では「ほぼ全ての研究科」という曖昧な表現になっているが、人間健康科学研究科（博士後期課程）の平成22年度入試定員充足率は1.18であり、定員充足の状況について正確に伝わる表現に修正を願いたい。 また本学では、平成21年度業務実績報告書小項目004,010,062,085,213に記載したとおり、博士後期課程の奨学金制度の創設や長期履修制度の導入、アジア諸国からの留学生受入等、大学院入学定員の充足に向けた取り組みを行っている。 原案では、志願者確保についていままでも何も検討していないと誤って受け取られる危惧がある。よって、上記のとおり修正を願いたい。 （意見書1頁参照）	・「大学院の入学者選抜」については、前年度に引き続き、博士前期課程では一部の研究科が定員充足率を満たしておらず、また、博士後期課程においては <u>一つの研究科を除き定員充足率を満たしていない</u> 。志願者確保に向けたさらなる検討を望む。  （対応） ・意見を踏まえ修正する。  （理由） ・業務実績報告や、第2回分科会でのヒアリングのとおり、志願確保に向けた各種取組を行っていることが認められる。さらなる討と取組に期待する。
2	項目別評価 （2頁） 首都大学東京に関する目標 【学生サポートセンターの設置】 「学生サポートセンターの設置」	・「学生サポートセンターの設置」については、知のキャリア形成支援委員会において、卒業生と学生との意見交換の場を提供したことは優れた取組と認められるが、同時に、様々な支援策について3キャンパスの学生が同質の支援が受けられるように <u>も配慮されたい</u> 。	・「学生サポートセンターの設置」については、知のキャリア形成支援委員会において、卒業生と学生との意見交換の場を提供したことは優れた取組と認められるが、同時に、様々な支援策について3キャンパスの学生が同質の支援が受けられるように <u>さらに配慮されたい</u> 。  （修正理由） 本学では、平成21年度業務実績報告書小項目046,059,063,079に記載したとおり、日野キャンパスや荒川キャンパスの学生に対しても、就職相談や企業セミナー、面接対策講座の実施等、様々な支援を行っている。また、各キャンパスで学生の健康管理情報を電子情報で共有し、学生がキャンパス移動しても継続した健康管理ができるよう、今後、医務室システム（電子カルテ）の導入を計画している。 このように、本学では3キャンパスの学生に同質の支援を行えるよう、様々な取組みを進めている最中であるが、原案では、日野・荒川キャンパスの学生に何も支援を行ってこなかったと誤って受け取られる危惧がある。よって、上記のとおり修正を願いたい。 （意見書3頁参照）	・「学生サポートセンターの設置」については、知のキャリア形成支援委員会において、卒業生と学生との意見交換の場を提供したことは優れた取組と認められるが、同時に、様々な支援策について3キャンパスの学生が同質の支援を受けられるように <u>さらに配慮されたい</u> 。  （対応） ・趣旨が分かりやすいように修正する。  （理由） ・分散キャンパスへの対応に注力していることは理解しており、案もその趣旨である。 ・ただし、キャンパス視察の際に実施した学生や教員との意見交換会からは、日野・荒川キャンパスの学生に対する同質の学生支援サービスは十分とは言い難く、大学としてさらなる配慮を期待したい。
3	項目別評価 （3頁） 首都大学東京に関する目標 【外国人留学生支援】 「外国人留学生支援」	・「外国人留学生支援」については、国際センター設置により、留学生と卒業した留学生のネットワークづくりに対する支援など、きめ細やかな支援が行われていると認められるが、3キャンパスの外国人留学生が、それぞれの学習・生活環境を考慮した上で、同質の支援を受けられるように <u>も配慮されたい</u> 。	・「外国人留学生支援」については、国際センター設置により、留学生と卒業した留学生のネットワークづくりに対する支援など、きめ細やかな支援が行われていると認められるが、3キャンパスの外国人留学生が、それぞれの学習・生活環境を考慮した上で、同質の支援を受けられるように <u>さらに配慮されたい</u> 。  （修正理由） 本学では、平成21年度業務実績報告書小項目046,059,063,079に記載したとおり、日野キャンパスや荒川キャンパスの学生に対しても、就職相談や企業セミナー、面接対策講座の実施等、様々な支援を行っている。また、各キャンパスで学生の健康管理情報を電子情報で共有し、学生がキャンパス移動しても継続した健康管理ができるよう、今後、医務室システム（電子カルテ）の導入を計画している。 このように、本学では3キャンパスの学生に同質の支援を行えるよう、様々な取組みを進めている最中であるが、原案では、日野・荒川キャンパスの学生に何も支援を行ってこなかったと誤って受け取られる危惧がある。よって、上記のとおり修正を願いたい。 （意見書5頁参照）	・「外国人留学生支援」については、国際センター設置により、留学生と卒業した留学生のネットワークづくりに対する支援など、きめ細やかな支援が行われていると認められるが、3キャンパスの外国人留学生が、それぞれの学習・生活環境を考慮した上で、同質の支援を受けられるように <u>さらに配慮されたい</u> 。  （対応） ・趣旨が分かりやすいように修正する。  （理由） ・外国人留学生支援においても分散キャンパスへの対応に注力していることは理解しており、原案もその趣旨である。 ・学生支援と同様に意見交換会からは、日野・荒川キャンパスの学生への同質の支援・サービスは十分とは言い難く、さらなる配慮を期待したい。

前  
博  
い

諸  
検

成  
こ  
3  
れ

原  
換  
た

留  
き  
外  
の

て  
留  
慮